

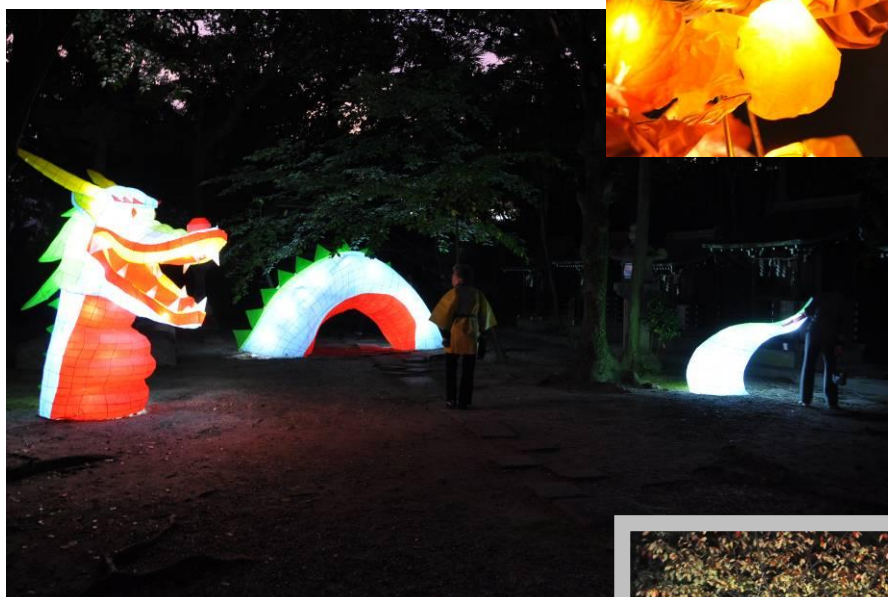
灯明アートフェスティバル

離宮八幡宮会場

11月3日(祝)～5日(土)

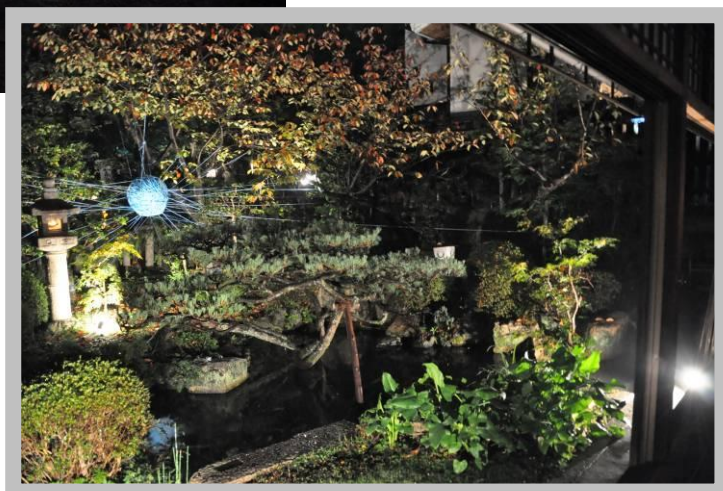
京都造形芸術大学の学生たちが、歴史ある離宮八幡宮の境内を舞台に「灯り」のアートを造り上げました。

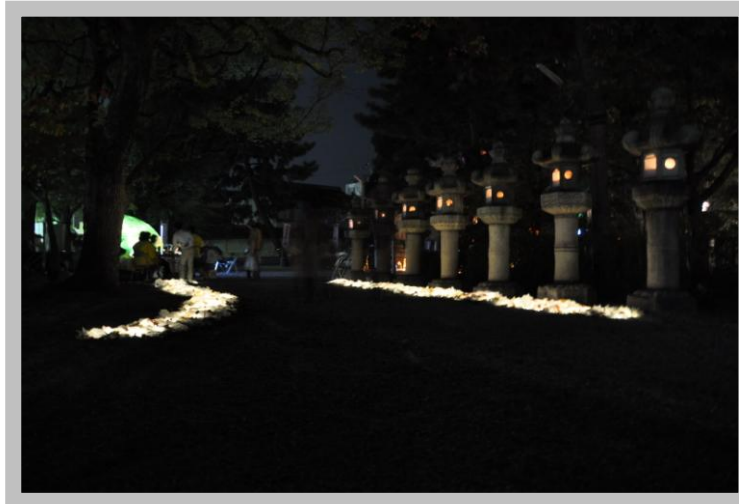
ほおずきを使った灯りのアートが、離宮八幡宮をオレンジ色に彩ります。



境内の奥の「龍のねぶた」

不思議な雰囲気装飾、ライトアップされた離宮八幡宮社務所横の庭園。

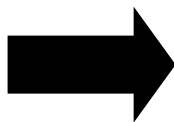




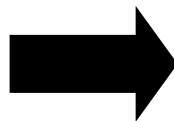
離宮八幡宮の境内



龍のねぶた



大山崎町エゴマ油復活プロジェクトPR
ガール「えごまちゃん」も登場。
夜になると・・・



LED エコ電飾発電機のペダルを踏む
とえごまちゃんが頬を染めて微笑
みます。



＜その他関連事業＞

大山崎町歴史資料館 第19回企画展

「戦国の茶湯―利休と秀吉をささえた文化」

千利休ゆかりの茶室・「待庵」にちなみ、「戦国武将と茶」と題した、企画展を開催。戦国の世に武将たちが茶湯に関心をもったのは、なぜか、さらに大山崎が、こうした茶湯をめぐる人々の舞台になったのはなぜか、をテーマに展開しました。



戦国の時代、大山崎には多くの茶人が参席した由緒ある街であることがわかりやすく展示されています。



家臣に扮した、ふるさとガイドの説明を来場者の方々は感慨深げに聞いていました。



待庵の模型も展示



府議会議長の視察に際し、説明を行う学芸員。



どうなっているのかと中を覗き見る来場者。

エゴマカフェ



お茶席と同じように来場者の人気を集めたエゴマカフェ。おもてなしを担当したのは、エゴマ油復活プロジェクト参加者の皆さんです。

ワークショップ



灯明アートフェスティバルの一環として開催したワークショップでは、子どもたちが参加して、オリジナルの「おりがみ灯明」づくりを楽しみました。



クロージングセレモニー

実施日 平成 23 年 11 月 6 日
午後 4 時～

場 所 ふるさとセンター
離宮八幡宮
宝積寺
アサヒビール
大山崎山荘美術館



実行委員会会長からの労いの挨拶



戦国時代の衣装に扮し、2日間頑張っていたみなさん。
おもてなしの心は来場者の方々にもきっと
伝わったことでしょう。

他の大茶会会場となった離宮八幡宮、宝積寺、アサヒビール大山崎山荘美術館へも、
実行委員会副会長らが労いの挨拶に赴きました。

